

ひたちなか・東海・那珂ほしいも協議会研修会

バスアミド等の農薬の 効果的な利用法について

2025年7月31日（木）
アグロ カネショウ株式会社

本日は...

土壌消毒 と バスアミドについて

土壌病害対策

土壤病害対策

耕種的防除
物理的防除
生物的防除
化学的防除

土壌病害対策（**耕種的防除**）

- ・ **罹病残渣処理**
- ・ 資材、器具の消毒
- ・ **雑草防除**
- ・ 作型の変更
- ・ 輪作、混作
- ・ 耐病性、抵抗性品種、台木の利用
- ・ **健全育苗、ウィルスフリー苗**
- ・ 水管理
- ・ 温湿度管理
- ・ 肥培管理
- ・ 栽植密度
- ・ 緑肥

土壌病害対策（物理的防除）

- ・ 蒸気土壌消毒
- ・ 熱水土壌消毒
- ・ 太陽熱土壌消毒
- ・ 土壌還元消毒

土壌病害対策（**生物的防除**）

- ・微生物農薬

➡一部作物の一部病害のみ

土壌病害対策（化学的防除）

- ・ 農薬による土壌消毒

→ バスアミド微粒剤等



土壌病害対策

収穫終了

～

作付けまで
にできること

収穫終了～作付までにできること

①土壌分析（化学性・生物性）

- ・ 圃場の状況を数値化👁️してリスクを知る。
- ・ 「前作の状況」が分析結果と対策の精度を向上させる。

➡ 前作どんな対策をしたか

➡ いつ、どこから、どのくらい発生？

収穫終了～作付までにできること

①土壌分析（化学性・生物性）

アグロカネショウの土壌分析（有料）

生物性分析

土壌病原菌

- ・青枯病菌
- ・フザリウム菌
- ・ピシウム菌
- ・しょうが根茎腐敗病
- ・ネギ類黒腐菌核病
- ・アブラナ科根こぶ病 など

植物寄生性線虫

- ・ネコブセンチュウ
- ・ネグサレセンチュウ
- ・ダイズシストセンチュウ

化学性分析

pH(H₂O)

CEC

EC

腐植

交換性カリウム

有効態リン酸

交換性石灰

リン酸吸収係数

交換性苦土

アンモニア態窒素

硝酸態窒素

全窒素・全炭素

微量元素4種
(Fe,Cu,Mn,Zn)

収穫終了～作付までにできること

②残渣除去

- ・ 残渣がある
 - ➡ 土壌消毒の効果にも影響
- ・ 残渣除去が大変
 - ➡ 分解資材も一つの手段

収穫終了～作付までにできること

③ 土壌消毒、線虫対策

- ・ 太陽熱土壌消毒(+ 土壌消毒剤)

➡ 湛水状態にして、地温40～45℃を20～30日間

- ・ 土壌還元消毒

➡ 米ぬかなどを入れ湛水状態にしたのち、地温30℃以上を20～30日間

- ・ 蒸気消毒・熱水消毒など

- ・ 農薬による土壌消毒

➡ バスアミド微粒剤、D-D、ネマキック粒剤など

メリット

安定した効果
短期間での消毒

バスアミド微粒剤

バスアミド微粒剤とは...

- ・ 土壤に混和するとガス化して効果を示す土壤消毒剤。
- ・ 雑草種子のほか、各種病原菌、線虫を消毒して連作障害を予防します。

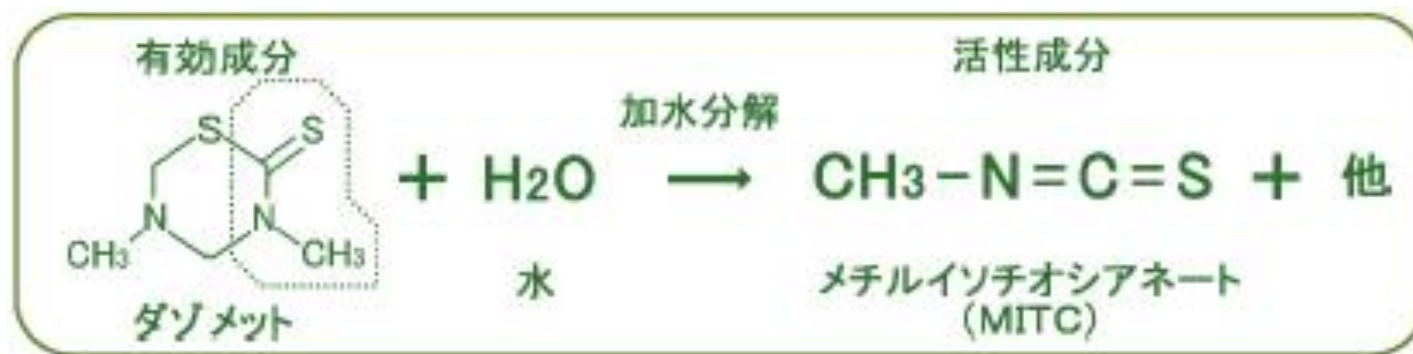
バスアミド[®]微粒剤

有効成分：ダゾメット 96.5%

性 状：類白色微粒

毒 性：劇物

包 装：20kg, 10kg, 他



バスアミド[®]微粒剤

■適用作物と使用方法(はくさいのみ抜粋)

令和7年6月現在

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ダゾメット を含む 農薬の 総使用回数
かんしょ	基腐病	30kg /10a	植付 21日前 まで	1回	本剤の 所定量 を均一 に散布 して土 壤と混 和する。	1回
	紫紋羽病 つる割病 白絹病 ネコブセン チュウ 一年生雑草	20～30 kg/10a				

バスアミド[®]微粒剤

4つの特長

- ① 刺激臭が少ない
- ② 様々な作物（約80作物）
で使用可能
- ③ 土壌病害、線虫、雑草種子
に効果あり
- ④ 作物の初期生育が良くなる

バスアミドを
効果的に
使用するために

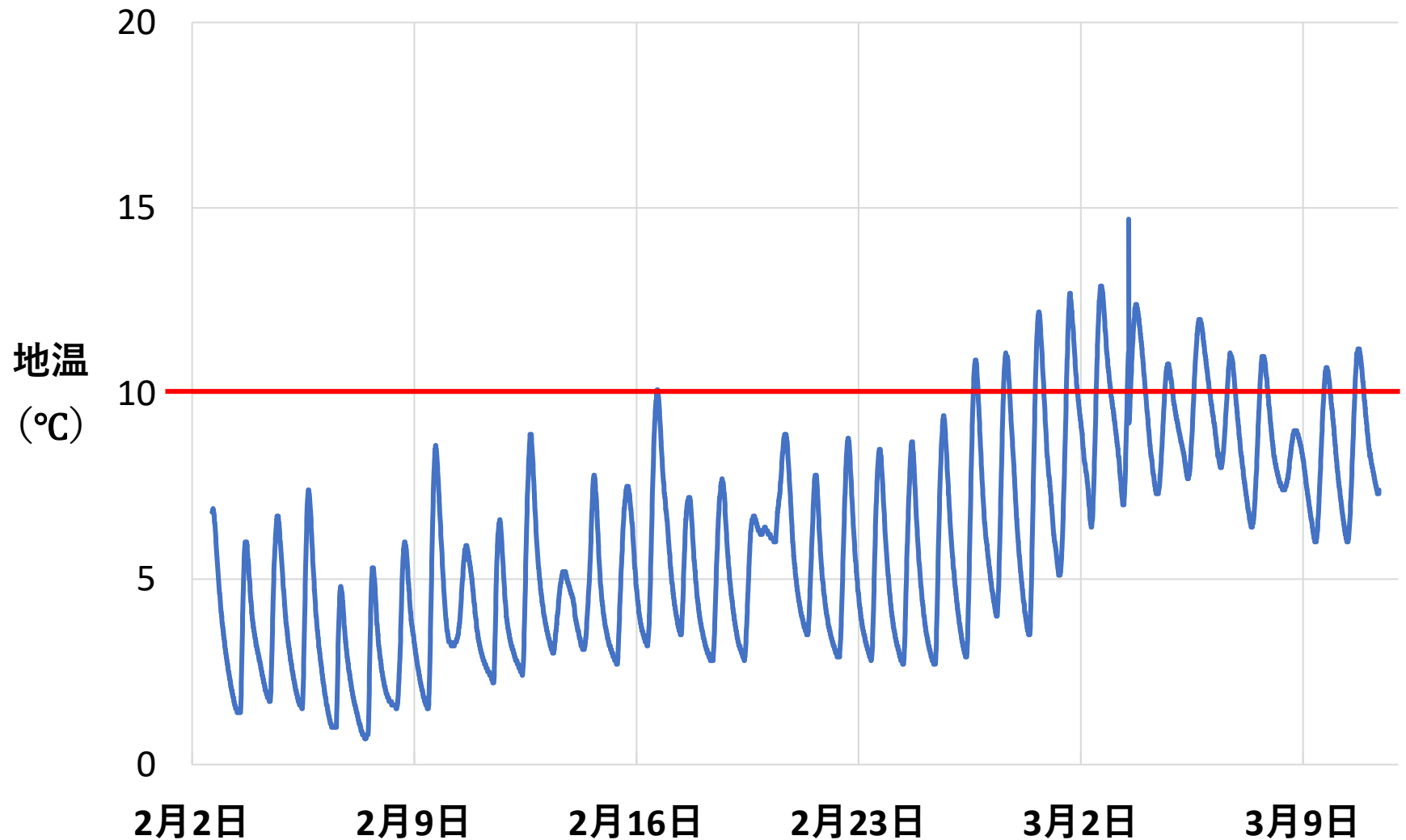
バスアミドの基本的な使い方

1. 前作の作物残さ除去
2. 整地と水分調整
3. 散布
4. 土壌混和
5. 圃場の被覆
6. ガス抜き作業
7. ガス抜きの確認（発芽テスト）
8. 畝立て、施肥

バスアミド使用スケジュール（例）

11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
収穫					施肥等		
	片付け等				植付		
			消毒期間(1～2か月)				
			散布、混和				
					被覆除去		
					発芽テスト		

地温の推移



地温の推移

